

2024 年（令和 6 年）度

事業報告書

一般財団法人 宇治市福祉サービス公社

2024 年（令和 6 年）度事業報告書 目次

I 事業計画の総括（事業方針と重点項目）

総括・重点項目実施状況	・・・・・・・・ 1
-------------	------------

II 理事会・評議員会等開催状況

（1）理事会開催状況	・・・・・・・・ 8
------------	------------

（2）評議員会開催状況	・・・・・・・・ 10
-------------	-------------

III 役員・評議員等名簿	・・・・・・・・ 11
---------------	-------------

IV 事業実績

公社独自事業	・・・・・・・・ 12
--------	-------------

介護保険事業	・・・・・・・・ 15
--------	-------------

障害者総合支援事業	・・・・・・・・ 20
-----------	-------------

宇治市受託事業	・・・・・・・・ 22
---------	-------------

I 事業計画の総括(事業方針と重点項目)

総括

2024 年(令和 6 年)度は第 9 期介護保険事業計画初年度にあたると共に、医療・介護・障害福祉の報酬等が改定され、公社にとっては事業・経営面において大きな影響を受けることが予想された。

結果として公社発足以来、収入面では初めてとなる 8 億円の大台に達し、過去最高の収入を得ることができた。収入増の要因はデイサービスを中心に新規利用者の確保と稼働率アップに努めたことや、委託事業の拡充等があげられる。

一方、支出面については諸手当を増額する等の処遇改善を図ったことと、新規事業や欠員補充等で職員数が増えたこと、更に、国の最低賃金の引上げにより、アルバイト職員の時給を一律アップ等したことで、前年比で更なる人件費支出の増額となった。しかしながら、年度途中の職員の退職により欠員が生じている部署もあり、人材確保については依然として厳しい一年となった。

とりわけ職員の定着と育成が大きな課題であり、新人職員研修や産業医の協力の下、メンタルヘルス研修の開催や定期的なヒアリングの機会を設ける等、新人職員の定着化を図ると共に、職員全体には年間キャッチフレーズ「職員間の連携強化と公社の魅力発信～高めようコミュ力！深めよう相互理解！～」を掲げて、これらを実践するための行動指針を提示し、社内のコミュニケーションの活性化を図るための研修等に取り組んだ。

更に、各種委員会活動として「ES 向上委員会」での職員間の親睦・交流を図る取り組みや、「働きやすい職場環境づくり委員会」でのハラスメント防止に向けた職員アンケートや業務省力化・効率化に向けた各種提案や福祉機器展への委員派遣等にも取り組んだ。

対外的には令和 6 年 7 月に発足した「宇治市高齢福祉事業者等協議会」の事務局の役割を果たし、関係法人との定期的な意見交換を重ねた。課題となっている福祉の仕事の魅力発信、福祉人材の確保、育成を宇治市と共に各法人が団結してこれに取り組む方向性の確認ができた。

更に、宇治市担当課との定例協議を毎月開催し、協働パートナーである宇治市との連携強化を一層図った。

2023 年(令和 5 年)度から 2027 年(令和 9 年)度までの「中期経営戦略計画」に掲げる達成すべき数値目標である、①財務目標に掲げた計画期間中の収支差額黒字額 5,000 千円以上、5 カ年度総額 25,000 千円以上については、初年度、本年度で既に達成することが出来た。また、経営指標の改善目標である②人件費率についても、原則 80%未満のところ、本年度は 76.6%とし、こちらも達成することが出来た。

重点項目実施状況

2024 年(令和 6 年)度の重点項目については以下の通り取り組んだ。

1. 宇治市の協働パートナーとして地域福祉の推進に寄与し、公社の存在価値を高める取り組み

- ① 市内在宅保健福祉サービスを手掛ける先駆的な法人として、「利用者本位のあたたかいサービスの提供」を実行する。

【結果】

- ・年度当初に職員を対象とした方針説明会を開催し、今年度の事業計画書、予算書について周知を図ると共に、令和 6 年度のキャッチフレーズである「職員間の連携強化と公社の魅力発信」を具現化するための行動指針を提示し、公社理念、倫理規則に基づく業務遂行の徹底を図った。
 - ・CS 向上委員会を中心に介護保険部門でお客様満足度アンケート調査を実施し、更なるサービス向上に取り組んだ。
- ② 指定管理を受けている地域福祉センターを活動拠点として地域住民から公社は地域になくってはならない存在であることをアピールするため、関係団体との協働による地域密着型事業の取組を行う。

【結果】 *各事業所の地域密着の取り組み状況

◆中宇治事業所

- ・地域密着型事業として「中宇治ぽっぽガーデン」の管理をガーデニングボランティアや宇治支援学校の高等部の生徒と共に取り組み、地域の環境美化に取り組んだ。
- ・月 2 回の事業所周辺の清掃活動を行い地域の環境美化に取り組んだ。

◆西小倉事業所

- ・地域福祉センターで開催された西小倉地区民生児童委員協議会主催の「輪投げ大会」を後援し、「福祉サービス賞」として賞品を提供した。その他、「敬老の集い」、「西小倉地域福祉まつり」、「西小倉地区新春祝賀会」等の地域の催しに参加した。
- ・宇治市生活支援体制整備事業の西宇治圏域の取り組みとして昨年度から開催された「にしおぐら de おさんぽラリー」に今年度も事業所として参加した。スタンプラリーのゴール地点の地域福祉センターを会場に、ボランティアによる演奏や、西宇治体育館との共同事業として高齢者を対象とした肩こり・腰痛予防体操などを行い、延べ 200 名以上の来場者があった。
- ・西小倉コミュニティーセンターで行われた防災訓練に参加し、西小倉デイサービスセンターで実施している垂直避難訓練の様子をパネル展示し、地域の方に洪水災害時の車いす利用者の避難方法などを周知した。

◆東宇治事業所

- ・デイルーム利用者数の増加を目的に映画鑑賞会を開催した。
- ・新型コロナウイルス感染対策で長らく開催できていなかった近隣保育園との交流会を9月の敬老週間に合わせて開催した。
- ・12月に「ぽっぽクリスマスマルシェ」を開催し、地域住民等400名近くの来場者があった。
- ・黄檗中学校、木幡中学校より職場体験学習で合計5名の生徒の受け入れを行った。
- ・1月12日に京都大学気候変動適応研究センター長の中北英一教授をお招きし、地域住民、センター登録団体の参加のもと、防災セミナーを開催した。また1月19日には地元自主防災会と共同で、炊き出し等非常災害訓練を開催した。また近隣の障害者施設の日頃の取り組みを紹介したパネル展示をセンター2階で行った。
- ・近隣の障害者施設の日頃の取り組みを紹介したパネル展示をセンター2階で行った。

◆広野事業所

- ・大開学区福祉委員会の配食事業に職員を派遣した。また広野中学校生徒会の依頼により、福島ひまわり里親プロジェクトに参加し、ひまわりの種の販売に協力した。
- ・第1回管理運営委員会を開催し、地域福祉センターの現状と課題について協議し、利用者受入促進策について検討した。そのうえで地域包括支援センターが主催する小地域ケア会議のプレ会議に参加し、地域福祉センターとして意見をまとめて報告した。8月22日と12月12日には城南荘地域にある城南荘木曜カフェにてセンター事業のPRを行った。
- ・地域密着事業としては、11月1日に登録団体と宇治市との協働でスマートフォン講座初級コースを開催した。また、地域住民と共に非常災害訓練を11月19日に実施し、避難訓練と避難所体験を実施した。

- ③ 宇治市の協働パートナーとして宇治市担当課との定例協議を継続すると共に、これまでの先駆的实践を踏まえ、もうひとつの協働パートナーである宇治市社会福祉協議会をはじめとする市内関係法人等との連携強化のための調整機能を果たす。

【結果】

- ・宇治市担当課と定例会議を毎月開催し、連携強化に努めた。
- ・地域包括支援センター受託法人、宇治市社会福祉協議会と共に設立した「宇治市高齢福祉事業者等協議会」の事務局として計7回の幹事会開催に際して各種調整を行った。また、協議会として京都福祉専門学校との意見交換会や、海外からの人材確保について専門業者を招き研修を行った。

2. 介護保険事業等の収益事業の安定化を図る取り組み

- ① 介護保険等改正の内容を踏まえて法令遵守に則りつつ、利用者ニーズに的確に応えていけるよう柔軟な発想でサービス提供を行う。

【結果】

・毎月 2 回の経営会議と月 1 回の係長会議を招集し、月々の経営状況の情報収集、共有を図ると共に、マンスリーレポートを発出し、経営状況の見える化に取り組んだ。

- ② 安定経営と処遇改善を両立するために、安定した収入を得られるよう、事業毎に達成すべき数値目標を設定する。

【結果】

・予算達成目標数値を部門毎に掲げ、月 2 回の経営会議、月 1 回の係長会議での確認と併せて、マンスリーレポートで予算目標と実績を職員に周知した。

- ③ 公社人材育成計画に則り、公社で働く職員が各々の専門性を遺憾なく発揮し、自信を持って業務にあたれるよう、社内教育・研修に取り組む。特に新人育成についてはメンタルヘルス対策も含めて万全を期する取り組みを行う。

【結果】

・新人職員を対象に産業医の協力を得てメンタルヘルス研修を実施した。
・研修計画に基づき毎月の研修テーマを踏まえて職員研修に取り組むほか、必要な外部研修に参加した。
・介護労働安定センター委託研修として、介護職、事務職を対象にコミュニケーションスキルに係る研修(NVC 研修)を開催した。併せて NVC を職場に定着させるためのプロジェクト研修を開催した。

3. 中期経営戦略計画期間中(2023 年度～2027 年度)における重点施策への取り組み

- ① 障害者サービスの事業拡充について(ヘルプサービス係・障害者相談支援センター係)

昨年度実施した市内障害者相談支援事業者への聞き取りや障害部門における経営分析を踏まえて、引き続き障害者サービスの事業拡充のために必要な体制整備を図るよう努める。

【結果】

・昨年に引き続きセンター長会議においてプロジェクトチームとしての取り組みを継続し、相談支援事業と訪問介護部門での情報共有を行った。
・サービス提供責任者を対象とした、育児支援、ヤングケアラー支援の取り組み状況を踏まえた研修を実施した。更に、DOHO グループ(障害・高齢・医療部門)相談支援センターkokua(コクア)より担当者を招き、相談支援センターの連携や情報交換を行った。

- ② 居宅介護支援事業所の拠点集約化について(ケアマネジメント係)

昨年度中には結論を見出すことができなかったため、引き続き拠点集約化を進めるに当たって、

課題整理等の検証作業を行うと共に、許認可権をもつ宇治市と引き続き協議を行う。

【結果】

- ・宇治市との定例協議の場でテーマとして掲げるが情報共有に留まった。京都府担当者に対して直接サテライト方式についての必要性を伝える機会があり、京都府としても見直しの時期にあるとの見解を確認した。

③ 効率的で実効性のある組織の再編について（事務局総務係）

昨年度事務局総務係内のプロジェクトで整理された課題に沿って引き続き業務見直しを行う。

【結果】

- ・令和 6 年度の人事異動に伴い、課題ごとに割り当てた総務係職員のペアを再編した。
- ・介護請求の事業所完結を 10 月から試行実施することを決定し、課題を洗い出した。
- ・ペアごとに相談・検討し、見直しできる事務は順次検討を進めた。
- ・人事担当職員が ICT 等の展示会の視察を行った。

④ 多様な働き方と定年後の再雇用について（経営会議）

定年延長については昨年度方向性を示したので、職員の定着を図り、職員の年代ステージ毎に安心して働き続けられる労働条件等の整備を図る。

【結果】

- ・プロパーの定年延長について、62 歳に引き上げる就業規則改正を第 90 回理事会に上程し可決を得た。
- ・アルバイト職員の定年年齢について、ヘルプサービス係を中心に 77 歳まで引き上げた。

4. 働きやすい職場環境づくりの更なる取り組み

昨年度「働きやすい職場環境づくり委員会」が行ったハラスメントに関する社内アンケートの結果も踏まえて、ハラスメント防止に資する取り組みに重点的に取り組む。

その為にも職員間の円滑なコミュニケーションを図れるよう、「ES 向上委員会」活動の活性化、係、業務を横断した研修の開催等に取り組む。

引き続き業務省力化、改善のための ICT 活用、介護機器導入についての検討を行う。

【結果】

- ・働きやすい職場環境づくり委員会を開催し、今年度の取組について業務軽減及びハラスメント対策の部会に分かれ活動した。
- ・事務軽減部会では部会長を ICT 等の展示会に派遣し、情報収集を行った。
- ・ハラスメント対策の部会ではアンケートを実施し、結果をとりまとめ職員に周知した。

5. 部門別重点項目

① 介護保険部門

「中期経営戦略計画」に位置付けられた、介護保険事業各部門において掲げられた目標及び年度毎の達成目の完遂のため、各々必要な措置を講ずるとともに、四半期毎に成果を検証する。

【結果】

- ・月 1 回の係長会議の場で部門毎の取り組み課題について協議を行った。依然として各部門での人材不足(アルバイト職員、契約ヘルパー等)が続いており、現状の人員で工夫、調整しながら事業運営に当たってきた。
- ・単価改定の効果等もあり、第 1 四半期から昨年度よりも収入が増加し、年間を通じて実績をキープすることができ、前年度を上回る収入をあげることができた。
- ・依然として職員体制が脆弱な中であっても、各事業においては新規契約者の獲得に取り組み、昨年度実績を上回る過去最高の収入を維持することが出来た。
- ・係によっては人材不足が依然として続いており、引き続き人材確保が急務である。

② 障害者総合支援法部門

「中期経営戦略計画」の重点施策の一つに位置付けられている障害者サービスの事業拡充について、昨年度のプロジェクトでの取り組み内容を踏まえて引き続き取り組む。

【結果】

- ・昨年に引き続きセンター長会議においてプロジェクトチームとしての取り組みを継続し、相談支援事業と訪問介護部門での情報共有を図った。
- ・訪問介護における障害サービスの提供割合を増やす方策を検討し、介護保険と障害サービスの提供割合の目標値を定め、そのために障害ヘルプサービス専用のパンフレットを活用し、障害者相談支援事業所への営業活動等を行う報告を確認した。

③ 宇治市委託事業部門

宇治市の協働パートナーの立場を具体的に示す事業として、地域包括支援センターや介護予防事業をはじめとする市委託事業の受託は公社の活動拠点である地域福祉センターの指定管理の維持継続も含めて重要な事業である。よって、中・長期の視点に立って担当課と定期的な協議の場を設定し、専門セクターの立場から積極的に市に提案を行う。

【結果】

- ・宇治市担当課と毎月定例会議を行い、連携強化に努めた。地域包括支援センター受託法人、宇治市社会福祉協議会との協議組織(宇治市高齢福祉事業者等協議会)の設立に向けて宇治市と共に調整を行い、協議会設立後は幹事会を開催し、事務局の役割を果たした。
- ・入門的研修事業を開催し、市民 20 名の参加を得た。

④ 公社独自事業部門

人材確保が困難を極める中、「ほほえみ介護塾」は重要な事業であり、引き続き質の高い研修が提供できるよう講師育成にあたり、ケアワークの技術の向上を図る。

その他、介護保険外サービス(ほほえみサポート)については派遣体制を年度内に見直す。

【結果】

- ・今年度のほほえみ介護塾は受講者 10 名を得て、6 月 24 日より開講した。
- ・ほほえみサポートについてはホームヘルプサービス係に移行する予定であるが、ヘルプサービス係の管理体制上の課題があり、事業の再編については引き続き慎重に検討する。
- ・ほほえみ介護は 10 名の受講者全員が修了され、うち 1 名が契約ヘルパーとして入職した。

⑤ 事務局総務部門

「中期経営戦略計画」に位置付けられた事務部門の課題解決に向けて、まずは人事労務・給与・財務等の事務作業の効率化、処理能力の確実性を図るための業務見直しに努める。

併せて公社事務部門の、業務手順や経験の継承を中心に事務職員の育成にあたる。

【結果】

- ・令和 6 年度の人事異動に伴い、課題ごとに割り当てた総務係職員のペアを再編した。
- ・介護請求の事業所完結を 10 月から試行実施することを決定し、課題を洗い出した。
- ・ペアごとに相談・検討し、見直しできる事務は順次検討を進めた。
- ・人事担当職員が ICT 等の展示会の視察を行った。



【宇治市高齢福祉事業者等協議会設立記念事業】

Ⅱ 理事会・評議員会等開催状況

(1) 理事会開催状況

第 87 回 理事会 [2024 年(令和 6 年)5 月 31 日開催]

議案第 1 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2023 年（令和 5 年）度事業報告書(案)」について
議案第 2 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2023 年（令和 5 年）度決算報告書(案)」について
議案第 3 号	「定時評議員会(第 31 回評議員会)の招集及び提出議案」について
議案第 4 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 理事、監事及び評議員の報酬及び支給の要件並びに費用弁償に関する規則」の一部改正について
報告第 1 号	「理事長等執務報告」について
報告第 2 号	「中期経営戦略計画初年度の達成状況及び 2024 年度計画」について
報告第 3 号	「宇治市社会福祉法人等連携協議会設立」について
報告第 4 号	「2023 年(令和 5 年)度 下半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第 5 号	「2024 年度 夏季賞与、特別賞与の支給」について

第 88 回 理事会 [2024 年(令和 6 年)8 月 8 日開催]

議案第 5 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社被服貸与規程」の一部改正について
議案第 6 号	「リハビリデイサービスぽっぽ中宇治の土曜日営業開始」について
報告第 6 号	「理事長等執務動静」について
報告第 7 号	「2024 年(令和 6 年)度第 1 四半期事業実績」について
報告第 8 号	「東宇治デイサービスセンター日曜日営業の再開」について

第 89 回 理事会 [2024 年(令和 6 年)9 月 12 日開催] (みなし理事会)

議案第 7 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第 8 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 支援員等の雇用に関する規程」の一部改正について

第 90 回 理事会 [2024 年(令和 6 年)11 月 5 日開催]

議案第 9 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員就業規則」の一部改正について
議案第 10 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
議案第 11 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員退職金規程」の一部改正について
議案第 12 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 契約職員規程」の一部改正について
議案第 13 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第 9 号	「理事長等執務動静」について
報告第 10 号	「管理職の退職」について

報告第 11 号	「2024 年(令和 6 年)度上半期事業実績並びに決算見込み」について
報告第 12 号	「東宇治デイサービスセンターの定員増」について
報告第 13 号	「2024 年(令和 6 年)度上半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第 14 号	「冬季賞与の支給」について

第 91 回 理事会〔2025 年(令和 7 年)1 月 30 日開催〕

議案第 14 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第 15 号	「理事長等執務動静」について
報告第 16 号	「2024 年(令和 6 年)度第 3 四半期事業実績並びに決算見込み」について
報告第 17 号	「2025 年(令和 7 年)度事業計画の概要」について
報告第 18 号	「正規職員等の基本給の引き上げ」について
報告第 19 号	「出産祝い金の創設」について

第 92 回 理事会〔2025 年(令和 7 年)3 月 14 日開催〕(みなし理事会)

議案第 15 号	「第 33 回評議員会の招集及び提出議案」について
----------	---------------------------

第 93 回 理事会〔2025 年(令和 7 年)3 月 26 日開催〕

議案第 16 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2025 年(令和 7 年)度事業計画書(案)」について
議案第 17 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2025 年(令和 7 年)度収支予算書(案)」について
議案第 18 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 理事、監事及び評議員の報酬及び支給の要件並びに費用弁償に関する規則」の一部改正について
議案第 19 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社職員就業規則」の一部改正について
議案第 20 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社職員給与規程」の一部改正について
議案第 21 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社契約職員規程」の一部改正について
議案第 22 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第 23 号	「定年退職後再雇用者の基本賃金格付け及び賞与の支給に関する取扱要項」の一部改正について
議案第 24 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社支援員等の雇用に関する規程」の一部改正について
議案第 25 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社育児・介護休業規程」の一部改正について
議案第 26 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社従業員紹介規程」について
報告第 20 号	「理事長等執務動静」について
報告第 21 号	「管理職人事」について
報告第 22 号	「2024 年(令和 6 年)度決算見込み」について

(2) 評議員会開催状況

第 31 回 定時評議員会 [2024 年(令和 6 年)6 月 20 日開催]

議案第 1 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2023 年(令和 5 年) 度決算報告書(案)」について
議案第 2 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 理事、監事及び評議員の報酬及び支給の要件並びに費用弁償に関する規則」の一部改正について
報告第 1 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2023 年(令和 5 年) 度事業報告書」について
報告第 2 号	「理事長等執務報告」について
報告第 3 号	「中期経営戦略計画初年度の達成状況及び 2024 年度計画」について
報告第 4 号	「宇治市高齢福祉事業者等協議会設立」について
報告第 5 号	「2023 年(令和 5 年)度 下半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第 6 号	「2024 年度 夏季賞与、特別賞与の支給」について

第 32 回 評議員会 [2024 年(令和 6 年)8 月 8 日開催]

報告第 7 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社被服貸与規程」の一部改正について
報告第 8 号	「リハビリデイサービスぽっぽ中宇治の土曜日営業開始」について
報告第 9 号	「理事長等執務動静」について
報告第 10 号	「2024 年(令和 6 年)度第 1 四半期事業実績」について
報告第 11 号	「東宇治デイサービスセンター日曜日営業の再開」について

第 33 回 評議員会 [2025 年(令和 7 年)3 月 26 日開催]

議案第 3 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 理事、監事及び評議員の報酬及び支給の要件並びに費用弁償に関する規則」の一部改正について
報告第 12 号	「定年延長について」
報告第 13 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2025 年(令和 7 年)度事業計画書」について
報告第 14 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2025 年(令和 7 年)度収支予算書」について
報告第 15 号	「2024 年度(令和 6 年度)収支決算見込み」について
報告第 16 号	「中期経営戦略計画 2024 年度(令和 6 年度)の進捗状況報告」について
報告第 17 号	「管理職の退職」について
報告第 18 号	「管理職人事」について
報告第 19 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第 20 号	「正規職員等の基本給の引き上げ」について
報告第 21 号	「出産祝い金の創設」について

Ⅲ 役員・評議員等名簿

(1)役員名簿【2025年(令和7年)3月31日現在】

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	塚原 理俊	有識者
副理事長	笹部 和男	弁護士
専務理事	田實 敬幸	前宇治市福祉サービス公社事務局長
理 事	有賀やよい	医師
理 事	五艘 雅孝	有識者
理 事	栢木 利和	有識者
理 事	星川 修	宇治市健康長寿部部長
理 事	小松美恵子	元小学校校長
理 事	平田 研一	認知症予防ネット理事長
理 事	原 保彦	宇治市社会福祉協議会副会長
監 事	池田 正彦	宇治東福祉会監事
監 事	小林 幸大	京都銀行宇治支店長

(2)評議員名簿【2025年(令和7年)3月31日現在】

役 職	氏 名	備 考
評 議 員	岡野 英一	京都ボランティア協会理事
評 議 員	石川 祐弘	宇治市連合喜老会副会長
評 議 員	神野 君夫	宇治久世医師会理事
評 議 員	吉田美恵子	宇治市民生児童委員協議会理事
評 議 員	須原 隆之	宇治市健康長寿部副部長
評 議 員	小松 一子	元大学教員
評 議 員	菊池ゆかり	山城福祉会宇治川福祉の園施設長

(3)第三者委員名簿【2025(令和7年)3月31日現在】

役 職	氏 名	備 考
委 員	山花 啓伸	
委 員	高田智恵子	

※介護保険事業・障害者総合支援事業の利用者等に対するの第三者的な相談・苦情窓口

公社独自事業

＜定款第4条(1)＞ 在宅保健福祉サービスの調査研究、知識の普及啓発、相談等に関する事業

＜定款第4条(2)＞ 自主的な在宅保健福祉サービスの提供に関する事業

＜定款第4条(10)＞ 地域保健福祉に寄与する関係団体等に関する支援、助成事業



【ひがしうじぽっぽフェスタ】



【西小倉地域福祉まつりのパレード】



【城南荘地区のサロンにて福祉センターの啓発活動】



【企業とのコラボによるスマートフォン講座】

公社会員の状況

賛助会員	会員数	昨年度	備考
法人会員	25	22	1口 10,000 円
個人会員	67	60	1口 1,000 円

情報誌の発行

公社情報誌「ぽっぽ」(各 2,500 部発行)を公社会員や利用者、関係機関等に配布し、知識・情報の普及啓発を行った。

◆実績

第 54 号(2024 年(令和 6 年)7 月発行)

第 55 号(2025 年(令和 7 年)1 月発行)

情報の収集と提供

公社情報誌「ぽっぽ」、公社ホームページを活用して利用者・市民に向け、公社で実施する事業の情報、求人情報の提供を行った。

また、公社の広報活動に力を入れ、特に SNS(Instagram、Facebook、LINE 公式アカウント等)を活用した情報発信に注力した。

(各種 SNS のフォロワー数と投稿数)

公式 SNS	フォロワー数	投稿数	昨年度投稿数
Instagram	1,561	129	118
Facebook	516	13	47
LINE	124		
X(旧 Twitter)	229	4	15

介護保険外訪問介護サービス(自主サービス) 通称「ほほえみサポート」

介護保険法で対応できない家事支援等の利用者ニーズに対して、自主サービスとして実施した。

*通院介助、一時的な掃除・整理整頓、絵画教室等への外出介助、産後ケア終了後の家事支援等

◆実績

(ほほえみサポート)

	令和 6 年度	昨年度
実人数	17 名(介護・障害・産後)	14 名(介護・障害・産後)
派遣回数	158 回	188 回
派遣時間	194 時間 30 分	228 時間 45 分

(院内介助)

	ぽっぽひがしうじ	ぽっぽ	計	昨年度
実人数	4	4	8	10 名
派遣回数	6	11	17	30 回
派遣時間	11 時間 10 分	21 時間 35 分	32 時間 45 分	80 時間 45 分

福祉人材研修事業

1)ほほえみ介護塾

介護人材の確保が喫緊の課題となっている状況において、ほほえみ介護塾は自社での養成事業として重要な役割を持つ事業である。今年度は定員 20 名に対して 10 名の応募であった。

その内 1 名が公社への入職に繋がった。

◆実績

実施時期	8 月 28 日～12 月 11 日	昨年度
受講者数	10 名	8 名
修了者数	10 名	8 名
入職者数	1 名	1 名

2)公社サービス利用者等リハビリサポート

リハビリ専門職が公社内外のデイサービスやケアマネジャー等からの依頼を受けて、サービス利用者へ運動指導や福祉用具を含む住環境改善等のアドバイスを行っているが、今年度は、中宇治地域包括支援センターからの11件の相談に対応した。

介護保険事業

<定款第 4 条(3)> 居宅介護支援、介護予防支援に関する事業

<定款第 4 条(4)> 訪問介護、訪問介護相当サービス、生活支援型
訪問サービスに関する事業

<定款第 4 条(5)> 通所介護、通所介護相当サービスに関する事業

<定款第 4 条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業

居宅介護支援事業

要支援・要介護の方からの相談に応じて、利用者の希望や心身の状態等を考慮した、適切な在宅または施設のサービスが利用できるよう、各種サービス事業者との連携を図り、介護及び介護予防サービス計画の作成、サービス提供の確保を行った。

◆実績 ※一人当たり給付管理は、予防給付等(事業対象者・要支援 1・2)については 1/3 件でカウント

	西小倉	東宇治	広野	中宇治	計	昨年度
介護支援専門員数	5 名	4.8 名(*1)	3.4 名(*2)	5 名	18.2 名	17.5 名
延給付管理件数	1,888 件	1,992 件	1,504 件	2,459 件	7,843 件	7,604 件
事業対象者	0	0	12	0	12	16
要 支 援 1	78	99	111	299	587	661
要 支 援 2	111	214	135	247	707	673
要 介 護 1	814	880	604	1,017	3,315	3,238
要 介 護 2	408	481	376	487	1,752	1,464
要 介 護 3	244	198	100	276	818	835
要 介 護 4	152	56	117	96	421	505
要 介 護 5	81	64	49	37	231	212
一人当たり給付管理／月	29.4 件	31.0 件	32.6 件	34.9 件	31.9 件	33.0 件

(*1)東宇治事業所の介護支援専門員数は令和 6 年 6 月から 1 名増員したことから年間の平均値にて表記

(*2)広野事業所の介護支援専門員数は令和 6 年 8 月まで 1 名アルバイト職員のため常勤換算で表記

◆各事業所の特徴

【西小倉】年度途中より、介護支援専門員が 1 名増え、5 名体制での業務にあたっている。

要介護 3、4、5 の給付管理件数が多く、全体の 25%となっている。その為、デイサービス、ショートステイ、訪問看護など、単体のサービスの調整ではなく、複合するサービスの調整が多くなっており、多機関連携の重要性が増している。

【東宇治】介護支援専門員経験 10 年以上の主任介護支援専門員が 3 名在籍し、様々なケースを担当している。宇治市のケアマネジャー勉強会等を通じて、他法人の居宅介護支援事業所との連携につとめている。

【広 野】年度途中にケアマネジャー 2 名が退職したため、同一法人内の居宅介護支援事業所への契約変更をお客様にご説明、ご理解を元をお願いをした。

【中宇治】公社内でのケアマネジャーの退職により、お客様を引き継いだことにより、利用契約者数が増えた。担当ケースについて一人で抱え込むことなく、チームで協力し合ってその時の最善策を考え対応するようにしている。

訪問介護事業(ホームヘルプサービス)

要支援・要介護の方に対して、ホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、排泄・食事・入浴等の身体介護や、掃除・調理等の生活援助を行った。

◆実績

			ぽっぽ ひがしうじ	ぽっぽ	計	昨年度
＊ 介 護 給 付	身 体 介 護	延利用人数	404 名	685 名	1,089 名	1,012 名
		延派遣回数	5,370 回	9,548 回	14,918 回	13,664 回
	身 体・生 活	延利用人数	275 名	328 名	603 名	543 名
		延派遣回数	1,921 回	2,646 回	4,567 回	4,129 回
	生 活 援 助	延利用人数	426 名	852 名	1,278 名	1,471 名
		延派遣回数	2,402 回	5,056 回	7,458 回	9,053 回
＊ 予 防 給 付	予 防 介 護 I (週 1 回程度の訪問)	延利用人数	530 名	206 名	736 名	788 名
		延派遣回数	2,100 回	760 回	2,860 回	3,084 回
	予 防 介 護 II (週 2 回程度の訪問)	延利用人数	62 名	79 名	141 名	169 名
		延派遣回数	502 回	655 回	1,157 回	1,369 回
	予 防 介 護 III (週 2 回程度を超える訪問)	延利用人数	0 名	0 名	0 名	0 名
		延派遣回数	0 回	0 回	0 回	0 回
総合 事業	生活支援型訪問サービス (週1回程度の家事)	延利用人数	18 名	53 名	71 名	88 名
		延派遣回数	63 回	210 回	273 回	315 回
計		延利用人数	1,715 名	2,203 名	3,918 名	4,071 名
		延派遣回数	12,358 回	18,875回	31,233回	31,614 回

※介護給付は要介護 1～5 の方、予防給付は要支援 1～2 の方、総合事業は事業対象者・要支援の方を対象

◆各事業所の特徴

【ぽっぽ】令和6年度はヘルパーの年齢が平均年齢62.4歳でヘルパーの介護技術向上とやりがい重視できるように選択的個別研修や同行訪問を充実させ、ヘルパーの満足度を高める取り組みを実施した。

【ぽっぽひがしうじ】退職者もなく、新たにほほえみ介護塾の卒業生一名が入職し24名のヘルパーとなった。上位資格取得を目指すヘルパーもあり、実践的な研修を中心に介護技術の向上を図ってきた。

通所介護事業(デイサービス)

要支援・要介護状態の方に対して、通所(送迎)による入浴、食事等の各種サービス、及びそれぞれのニーズに応じた介護、機能訓練等を提供し、利用者個々に満足してもらえるサービスの提供を行った。

◆実績

	西小倉		東宇治	広野	中宇治	計	昨年度
施設区分	通常型	認知症型	通常型	通常型	短時間型		
定員	25名	10名	25名	23名	30名	113名	113名
運営日数	361日	309日	309日	361日	283日		
延利用人員	8,164名	2,139名	6,477名	7,374名	5,692名	29,846名	27,846名
事業対象者	9	0	9	0	374	392	465
要支援1	145	0	71	138	2,719	3,073	2,333
要支援2	305	16	579	378	2,599	3,877	3,349
要介護1	3,771	379	2,463	2,173		8,786	9,732
要介護2	2,101	525	2,304	2,795		7,725	6,291
要介護3	998	859	825	1,046		3,728	3,051
要介護4	646	208	78	681		1,613	1,862
要介護5	189	152	148	163		652	763
1日平均人数	22.6名	6.9名	21.0名	20.4名	20.1名		

◆各事業所の特徴

【西小倉】 通常規模型については、11月には96.00%(定員25名に対し、平均24名利用)と高い稼働率だったが、12月以降、インフルエンザの影響もあり、入院、中止するケースが多く、3月には84.38%まで落ち込んだ。4月～11月は高い稼働率だったこともあり、年間の稼働率は90.46%と90%台をキープできた。

認知症型については、12月に80.80%(定員10名に対し、平均8名利用)と高い稼働で、登録者数も26名と多くのお客様に来ていただいたが、1月以降インフルエンザや認知症状の悪化、家族対応の限界などがあり、入所や入院が増え、利用中止が続き、3月末時点の登録者数は21名まで下がった。年間稼働率は69.22%となっている。

【東宇治】 11月から12月にかけて、職員、利用者の感染症の蔓延が発生したものの、令和6年1月からの日曜日の休業、4月の生活相談員の体制強化もあり、年間稼働率も83.84%(昨年度64.87%)まで回復することができた。ただし、人材確保は依然として厳しく、特に介護職員の確保が課題となっている。

【広野】 年間稼働率89%と目標数値より2%上げることができた。しかし、上半期の90%台から12月～2月は85%台に落ち込んだ。理由としては、入院や体調不良等が原因であった。3月から8

7%台に回復している。介護度の高い利用者も多く(平均介護度 2.1)、職員の業務負担を図るために特殊浴槽の導入を今後検討する必要がある。

【中宇治】 月曜日から金曜日までの定員が埋まってきたため、10月から土曜日開催を開始した。

機能訓練に特化した要支援者対象の短時間型通所サービスにもかかわらず、80代後半以上の高齢者の参加が多く、体調不良や転倒などによる入れ替わりが多く、定員が埋まりにくいことや、自己都合の欠席も多く、年間の稼働率は67%台に留まった。こうしたことから、稼働率を向上させるために皆勤賞を作り、参加意欲を高める工夫を行った。



【西小倉デイ・初詣の様子 宇治神社】



【リハビリデイサービスぽっぽ中宇治】

障害者総合支援事業

＜定款第 4 条(7)＞ 障害者福祉サービスに関する事業

＜定款第 4 条(8)＞ 障害児福祉サービスに関する事業



【在宅を支える公社のホームヘルパー 研修風景】

居宅介護事業(ホームヘルプサービス)

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、可能な限りその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援した。

◆実績

	東宇治	ぼっぼ	計	昨年度
実利用者数	30 名	36 名	66 名	72 名
派遣回数	5,192 回	6,971 回	12,163 回	11,432 回
派遣時間	4,741 時間 15 分	6,043 時間	10,784 時間 15 分	10,359 時間 10 分

移動支援

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、外出のための移動支援を行った。

◆実績

	東宇治	ぼっぼ	計	昨年度
実利用者数	3 名	2 名	5 名	6 名
派遣回数	199 回	3 回	202 回	355 回
派遣時間	119 時間 15 分	1 時間 30 分	120 時間 45 分	152 時間 30 分

◆各事業所の特徴

【ぼっぼ】 利用者の多様なニーズに応えるべく、相談支援事業所と連携を図りながら支援を行った。ヘルパーからは心身の不調の訴えや障害特性を踏まえた対応できるよう研修の機会をつくり、対応できるようなスキルアップの意識をもって業務に臨んでいる。

【東宇治】 心身の変調をきたしやすい利用者については、相談支援事業所への報告、連絡、相談を綿密に行い、相互連携を大切にしながら対応してきた結果、実利用者数、派遣回数、派遣時間数共に昨年度を上回ることができた。

障害者相談支援センター

障害児・者、その家族が抱える悩みや困りごとについての相談をお受けし、一人ひとりが望む地域生活の実現のために、専任で 3 名(9 月より 2 名)の相談支援専門員を配置してサービス等利用計画支援を行った。

◆実績

	サービス利用計画作成	昨年度
総件数	915 件	757 件
実人数	103 名	83 名

宇治市受託事業

<定款第4条(9)> 在宅保健福祉サービスに関する受託事業



【若い世代が登壇した第11回認知症フォーラム in 宇治】

訪問型事業

1)訪問指導事業(健康増進法に基づく事業)

40 歳以上 65 歳未満の心身機能が低下している方を対象に、自宅に訪問し、運動指導や日常生活動作指導を行う事業であり、介護保険や障害者総合支援法等で当該事業に相当するサービスを利用できる方は除外され、市の担当者が必要と判断された方が対象となる。

今年度は、生活習慣病健診の要指導者から、保健師を通じて要請があり、運動指導や動作指導を行った。

◆実績 2名の方へ 延べ3回

2)訪問型短期集中予防サービス

短期集中予防サービスの訪問型のうち、主に運動面に係る支援について委託を受け、地域包括支援センター等のケアマネジャーが作成するプランに基づき、1 対象者当たり 3 ヶ月間で最大 6 回の支援を行う。リハビリ専門職の視点から、生活課題に対する評価や改善プログラムを計画し取り組みを支援した。

また、通所型サービス利用者は、訪問型を最大 2 回まで利用し、自宅での状況把握や指導を行うことで、生活課題の改善に向けた支援に繋げた。

◆実績

	件数	実利用者数
通所型併用	78件	62 名
訪問型	72件	17 名
計	150件	79 名

通所型介護予防事業

1)健康倶楽部

65 歳以上の市民を対象に、市政だよりで募集し抽選で決定した対象者に対して、運動器向上プログラムを中心とした一般介護予防事業「健康倶楽部」を行った。

自分の体重を活用した運動を主とする「スロートレーニング教室」、機器を使ったトレーニングで身体の動きやすさを改善する「パワリハトレーニング教室」の2種類の教室を広野地域福祉センター等の各会場にてそれぞれ20回を2クール又は4クール実施した。

会場の工事の都合により、当初の予定より期間を延長する会場が発生したため、後期の予定を変更して実施することになり、体制の調整が必要となったが、予定通りの教室回数をすべて実施する事が出来た。

◆スロートレーニング教室 実績

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第 2 位を四捨五入)
平盛デイホーム	20 回	18名	289名	14.5名
東宇治コミセン	20 回	19名	312名	15.6名
西小倉地福 A	20 回	19名	334名	16.7名
西小倉地福 B	20 回	20名	267名	13.4名
東宇治地福	20 回	20名	325名	16.3名
リエゾン宇治おおくぼ	20 回	19名	314名	15.7名
東宇治コミセン	20 回	20名	339名	17.0名
うじ安心館	20 回	20名	342名	17.1名
西小倉地福 A	20 回	18名	303名	15.2名
西小倉地福 B	20 回	20名	327名	16.4名
東宇治地福	20 回	20名	325名	16.3名
リエゾン宇治おおくぼ	20 回	13名	211名	10.6名
計	240 回	226名	3,688 名	15.4名

*地福:地域福祉センター *コミセン:コミュニティーセンター

◆パワリハトレーニング教室 実績

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第 2 位を四捨五入)
A広野地福	80 回	68 名	1,106 名	13.8名
B黄檗体育館	80 回	46 名	757 名	9.5名
C広野地福	80 回	64 名	1,117 名	14.0名
計	240 回	178 名	2,980 名	12.4名

*地福:地域福祉センター

2)通所型短期集中予防サービス

短期間で集中的に心身機能の向上に取り組み、生活課題を改善し日常生活への定着を目標とするサービスとして、栄養・口腔ケアの内容を含む複合型のコースを2会場でそれぞれ週1回ずつ実施した。今年度は、前年度の黄檗体育館を東宇治地域福祉センターに変更した。参加者は随時受け入れ、一人につき 10 回を 1 クールとし、各会場年間 40 回の予定で開催した。

地域包括支援センター等のケアマネジャーによるプランに基づき、通所前後を含む期間中の最大 2 回までの訪問型サービスを併用し、自宅での評価や指導を行った。

◆通所型短期集中予防サービス 実績

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
東宇治地福	40回	33名	236名	5.9名
広野地福	40回	25名	198名	5.0名
計	80回	58名	434名	5.4名

3)セルフパワリハ

65 歳以上の利用希望者で、宇治市担当課で受け付け、登録された方が実施日に広野地域福祉センターへ来所してトレーニングを行う事業であり、利用者の自己管理・自主トレーニングを基本とし、機器操作や運動方法、安全管理等を専門職が指導した。

時間入れ替え制で人数を1単位16名×3単位を基本とし、16名を超えた場合は、回数を工夫する事で来所者全員がトレーニングに参加できるようにした。

今年度は、大雨警報による中止が1回あり、連絡と安全への対応を行った。

◆実績

会場	実施回数	新規 登録者数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
広野地福	90回	30名	3,520名	39.1名

*うち1回は中止対応、中止回数を除く平均参加者数は39.6名

4)認知症予防教室

65 歳以上で認知機能の活性化に関心のある方に対して、市内の介護予防拠点施設を中心に市内8会場(4会場×2クール)で「あたまイキイキ教室」を開催し、教室に継続的(週1回20回)に参加する中で、他者との交流を深めながら、脳活性化訓練等を行い、生活の活性化を図ることを目的として実施した。

前年度参加していない方を優先とし、会場ごとに安全に実施できる人数を設定して開催した。

◆実績

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
うじ安心館	20回	18名	338名	16.9名
小倉デイホーム	20回	19名	315名	15.8名
六地藏公会堂	20回	18名	297名	14.9名
平盛デイホーム	20回	15名	243名	12.2名

朝日プラザ	20 回	18名	308名	15.4名
明星町集会所	20 回	15名	261名	13.1名
西小倉地福	20 回	18名	332名	16.6名
東宇治地福	20 回	18名	321名	16.1名
計	160 回	139 名	2,415 名	15.1名

5)地域リハビリテーション活動支援事業(地域 de げんき講座)

地域で介護予防に取り組むグループの活動や自主グループの立ち上げを支援する目的で、リハビリテーション専門職等が地域の活動の場へ出向き、グループの要望に応じた講話や運動プログラムの体験を提供し、介護予防の啓発や身近な地域での健康維持・増進に役立てていただく事業を行った。

チラシの配布等案内し、半数が 65 歳以上で構成される 10 名以上の登録があるグループを対象とした。終了時には実施状況の振り返りや依頼団体の把握のためのアンケートも実施した。

◆実績

内訳	実績
実団体数	33団体
実施回数	53回
延参加者数	796名

6)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業(フレイル予防教室)

宇治市民中心の地域団体へ、栄養・口腔・運動 3 つの出前講座を行う事業で、運動講座を担当した。市が派遣を決定した介護予防に資する通いの場を運営する団体に、リハビリの専門職が出向き、体力測定や体操実技指導などを実施した。

◆実績

38団体、延べ511 名

地域包括支援センター運営事業

市からの受託事業として、市内 3 カ所(西宇治、東宇治南、中宇治)を拠点に、地域包括支援センターの運営事業を行った。

1)介護予防支援事業(事業対象者・要支援 1・2 の方の給付管理)

◆実績

		西宇治	東宇治南	中宇治	計	昨年度
予防給付年間 給付管理件数	直接	1,902 件	2,273 件	2,262 件	6,437 件	6,113 件
	委託	1,386 件	1,128 件	1,273 件	3,787 件	3,486 件
	計	3,288 件	3,401 件	3,535 件	10,224 件	9,599 件
新規件数		111 件	88 件	126 件	325 件	311 件

2)総合相談・権利擁護・包括的支援事業

◆実績

相談対応の内容等	西宇治	東宇治南	中宇治	計	昨年度
新規相談者数	718 名	478 名	499 名	1,695 名	1,633 名
(再掲)独居・高齢者世帯	353 名	295 名	334 名	982 名	920 名
(再掲)認知症・精神疾患	113 名	130 名	121 名	364 名	310 名
相談延べ人数	3,754 名	1,336 名	1,766 名	6,856 名	7,010 名
高齢者虐待に関すること(延べ)	136 名	61 名	43 名	240 名	366 名
ケアマネ支援(実人数)	1 名	11 名	20 名	32 名	33 名

3)小地域包括ケア会議開催

◆開催状況一覧

包括名	開催日	参加者数	テーマ
西宇治	5 月 20 日	20 名	民間企業・福祉関係団体を交えての、認知症の独居高齢者の孤独死について
東宇治南	10 月 18 日	33 名	広岡谷地域のネットワークづくりを目指して
	11 月 25 日	13 名	認知症高齢者の在宅での継続した生活の支援について
中宇治	4 月 30 日	12 名	“気になる”を“気にかける”大開地域に
	6 月 13 日	9 名	地域で見守られ、安心して生活を送れるよう支援を考える
	12 月 5 日	16 名	高齢者等が安心して暮らすことができる街づくりを行うために、現状を共有し取り組みにつなげよう！

4)脳活性化事業

地域において認知症の正しい理解を広げ、自主的に介護予防に取り組んでいただくために、認知症についての情報提供や、体操、レクリエーション等を行う教室を包括圏域ごとに実施した。

「レッツにしうじ」(西宇治圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	西小倉地域福祉センター(火)	6回	99名
	西小倉地域福祉センター(金)	6回	105名
後期	西小倉地域福祉センター(火)	6回	100名
	西小倉地域福祉センター(金)	6回	95名
計		24回	399名

「あつまれ元気の森」(東宇治南圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	東宇治地域福祉センター	6回	155名
	ユニ宇治川マンション集会所	6回	103名
後期	東宇治地域福祉センター	6回	145名
	ユニ宇治川マンション集会所	6回	160名
計		24回	563名

「おいでやす脳活道場」(中宇治圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	宇治市福祉サービス公社中宇治事業所	6回	49名
	広野地域福祉センター	6回	81名
後期	宇治市福祉サービス公社中宇治事業所	6回	76名
	広野地域福祉センター	6回	51名
計		24回	257名

5)初期認知症総合相談支援事業

今年度より認知症コーディネーターが増員され、うち 1 名が西宇治地域包括支援センターに配置された。認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう、専任の認知症コーディネーター 3 名(社会福祉士)と補助職員 1 名(看護師)を配置し、医療、福祉等とのネットワークを形成し、認知症の人や家族に対し、状況に応じた適切な支援を行うことと、初期認知症の特性に配慮して切れ目のない支援を提供するために、状況に応じた適切な医療、介護等との連携を図るとともに、必要となる社会資源等を構築することを目的に実施した。

① 認知症対応型カフェの企画・管理

宇治市全域の「れもんカフェ」を 10 回開催した。

中宇治地域包括支援センターで管轄する 3 地域包括圏域のカフェを夫々 4 回で計 12 回、西宇治圏域で 9 回と併せて計 21 回(市全体では年 51 回)の「れもんカフェ」を開催した。

◆圏域カフェ 計 21 回

圏域名	開催場所	回数	参加者数
西宇治圏域	花おり・和みカフェ・西小倉地域福祉センター	9 回	174 名
東宇治南圏域	わに食堂・らくかふえ・熊小路集会所・宝善院	4 回	79 名
南部・三室戸圏域	明星集会所・三室戸北集会所・明星園特養・福角集会所	4 回	36 名
中宇治圏域	ぽっぽ中宇治・市役所 8 階・宇治教会・広野地福	4 回	53 名
計	15 ヶ所	21 回	342 名

※北宇治地域包括支援センターが管轄する、榎島、北宇治、南宇治圏域と東宇治北圏域は除く。

※参加者数にスタッフ、講師、演者は含めない

◆全域れもんカフェ 計 10 回

開催月	開催場所	開催内容	参加者数
4 月	準備期間のため開催なし		- 名
5 月	宇治市役所 8 階コミュニティカフェ	令和 6 年度れもんカフェについての意見交換、交流。	12 名
6 月	宇治市役所 8 階コミュニティカフェ	① 令和 6 年度の認知症事業紹介。 ② よし笛、ハーモニカ演奏	7 名
7 月	京都認知症総合センター 地域交流センター	① これからのれもんカフェについて ② ギター演奏	28 名
8 月	雨天中止		- 名
9 月	東宇治地域福祉センター	① 認知症の人と家族の会 想いと活動 ② 箏演奏	25 名
10 月	京都認知症総合センター カフェほうおう	① なっちゃんファームについて ② でばしよ de れもんの珈琲道場コラボ	28 名

11 月	京都文教大学	ともいきフェスティバルで、でばしょ de れもん・京都文教大学平尾ゼミ生と「大学れもんカフェ」としてコラボ開催。 ① でばしょ de れもん誕生までの流れ ② ギター演奏	27 名
12 月	京都翔英高等学校	① 認知症とともに生きる～私たちが伝えられること～ ② 京都翔英高等学校生徒によるレクリエーション	45 名
1 月	京都認知症総合センター 地域交流センター	① れもねいど〇×クイズ ② ギター、キーボード演奏	11 名
2 月	京都認知症総合センター カフェほうおう	① れもんパス更新計画 ② ギター演奏	27 名
3 月	京都認知症総合センター 地域交流センター	① 令和 6 年度認知症事業紹介 ② ギター、アコーディオン演奏	24 名
計			234 名

※参加者数にスタッフ、講師、演者は含めない。

※11 月開催のカフェは、京都文教大学とのコラボであり、参加者数は本人、家族のみ。

② 認知症初期集中支援チーム事業の実施及び事例検討会の開催

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の方やその家族に早期に関わるための「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的に実施した。

中宇治チームは市内 3 圏域を対象として、圏域の包括等との連携により実施し、15 件、西宇治圏域は 7 件の計 22 件の訪問調査と介護サービス導入や、医療受診等必要な支援を行った。

◆チーム員会議

チーム員会議場所	会議開催数 (回)	会議ケース (件)	年度内終了件数 (件)	継続中 (件)
洛南病院	24	13	8	5
宇治おうばく病院	12	5	3	2
京都認知症総合センター	12	4	3	1
未実施	0	0	0	0
計	48	22	14	8

◆担当圏域との調整会議(事例検討会)

宇治市、地域包括支援センターと一緒に、初期集中支援チームのケースについて事例や傾向を共有し、意見交換をした。また、残りの時間で、れもんカフェについても情報共有した。

回数	開催日	内容	参加人数
1	11月6日	・認知症初期集中支援チームの運営について ・れもんカフェの運営について 初期集中支援チームについて、認知症コーディネーターから情報提供。	・包括 12名 ・市 3名 ・認 CD 5名
2	2月12日	・認知症初期集中支援チームの運営について ・れもんカフェの運営について 事前に、地域包括支援センター職員にアンケートを取り、それに基づいて当日、各圏域が日頃どのように対応しているのかの意見交換を行った。	・包括 12名 ・市 2名 ・認 CD 5名

③ れもねいだー養成講座、れもねいだーステップアップ講座の開催

国が進めるチームオレンジの宇治市版である「チームれもん」の立上げに向けて、これまで「認知症を正しく理解するための連続講座」として開催していたものを、今年度は新規のれもねいだーを養成するための「れもねいだー養成講座」と、既にれもねいだーとして活動されているれもねいだーを対象とした「れもねいだーステップアップ講座」として開催した。

◆【れもねいだー養成講座】

会場：うじ安心館 3 階ホール

受講者数： 17 名 修了証発行者数 15 名 新規れもねいだー登録者数： 14 名

〔れもねいだー登録状況〕登録者数： 120 名 ※活動辞退者を除く

回数	開催日	内容	講師
1	12月10日	認知症あんしんサポーター養成講座	認知症コーディネーター 富澤 和矢
2	1月20日	認知症の医療とケア	府立洛南病院 医師 森 俊夫氏
3	2月4日	振り返りとこれからについて	宇治市福祉サービス公社 川北 雄一郎

◆【れもねいだーステップアップ講座】

会場：うじ安心館 3 階ホール

受講者数： 17 名 修了証発行者数 14 名

回数	開催日	内容	講師
1	10月24日	開催概要説明、グループワーク	認知症コーディネーター 坂 千尋
2	11月25日	認知症の医療とケア	府立洛南病院 医師 森 俊夫氏
3	12月2日	振り返りとこれからについて	宇治市福祉サービス公社 川北 雄一郎

◆【れもねいだー研修会】受講者数： 20 名(現:14 名・新:5 名・予定 1 名)

開催日	会場	内容
2 月 27 日	うじ安心館 3 階大会議室	① 「れもねいだーの活動とは 紹介とお願い」 ② 「チームれもん立ち上げに向けての具体的なお話し」 ③ 個人ワーク、グループワーク

④ 認知症あんしんサポーター養成講座の開催及びキャラバン・メイト事務局運営

◆認知症あんしんサポーター養成講座

開催回数	受講者数
29 回	1,063 名

◆宇治市キャラバン・メイト事務局

事務局として、キャラバン・メイトのボランティア加入手続き及び年 2 回の新聞発行、年 2 回のフォローアップ研修を実施した。

回数	開催日	会場	内容	講師	受講者数
1	9 月 6 日	宇治市福祉サービス 公社 3 階会議室	新テキストマニュアル配布、 意見交換	坂 千尋	24 名
2	2 月 12 日	宇治市福祉サービス 公社 3 階会議室	チームれもんについての説 明、意見交換	坂 千尋	24 名

⑤ 宇治市認知症家族支援プログラムの開催及び鈴の音会

◆宇治市認知症家族支援プログラム

会場：うじ安心館 5 階集団指導室、3 階大会議室

回数	開催日	内容・講師等	参加者
1	9 月 8 日	内容：つくろうネットワーク 講師：認知症の人と家族の会 京都府支部代表 河合 雅美 氏	5 名
2	10 月 9 日	内容：認知症の基本的な知識「学びましょう、認知症のこと」 講師：宇治おうばく病院 医師 樋川 毅先生	5 名
3	11 月 8 日	内容：サービスのいろいろ「上手に使うサービス利用」 講師：榎島地域包括支援センター 佐藤 佳久氏	5 名
4	12 月 12 日	内容：介護の仕方と介護者の心「見つめてみましょう、あなたの心」 講師：認知症の人と家族の会 京都府支部副代表 越野 稔氏	5 名

5	1月10日	内容:「認知症の人との関わり方」 講師:小規模多機能ホームまごころ西宇治 大橋 一彦氏 グループホームまごころ西宇治 幡司 仁氏 グループホームまごころ大久保 玉村 耀士氏	5名
6	2月18日	内容:医師との関わり方、薬について「医師と上手に付き合おう」 講師:京都認知症総合センター 医師 川崎 照晃 先生	7名

◆鈴の音会

毎月第4金曜日に年12回(内10回は交流会、2回は研修会)開催した。

・研修会 開催回数:2回 参加実人数:16名 参加延べ人数:17名

場所:第1回:京都認知症総合センターカフェほうおう

第2回:うじ安心館3階大会議室

回数	開催日	内容	講師	受講者
1	7月26日	医師と考える～認知症の診断後の介護について～	府立洛南病院 森 俊夫先生	11名
2	3月28日	介護者も介護される方も、知識と行動で生活が楽になる	宇治市福祉サービス公社 介護予防サポートセンター係 センター長 細川 佐理	5名

6)認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業

認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう、専任の認知症コーディネーター2名(社会福祉士)と補助職員1名(看護師)を配置し、市が掲げる「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて事業を実施した。認知症の本人・家族の声をもとに、ボランティア(れもねいだー)や企業(れもねいど加盟企業・団体)との共働により、事業に取り組んだ。

① 第11回認知症フォーラム in 宇治の開催

【テーマ】「認知症の人にやさしいまち・うじ宣言から10年～世代を超えて広がるれもねいどの輪～」

【開催日】令和7年3月20日(祝) 11:00～16:00

【場 所】宇治市生涯学習センター 第1ホール・第2ホール

【参加者】 157名

② 宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」推進協議会の開催

宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」の事務局として、当事者、関係団体代表者等で構成された推進協議会を年 2 回開催した。

回数	開催日	会場	内容
1	6 月 24 日	うじ安心館 3 階 ホール	今年度のれもねいど推進協議会について・令和 5 年度の事業報告・令和 6 年度の活動方針について 他
2	3 月 10 日	うじ安心館 3 階 ホール	下半期の活動報告及び今年度のまとめ・れもねいど加盟登録及びアクションについて・令和 7 年度宇治市初期認知症総合相談支援事業について・認知症フォーラムについて・意見交換・来年度の予定

③ すずなりれものの会

れもねいど推進協議会から派生した、れもねいど加盟企業・団体、れもねいだー、認知症ご本人・ご家族、専門職の交流の場として年 2 回開催。

回数	開催日	会場	内容
1	10 月 7 日	うじ安心館 3 階 ホール	れもねいど加盟企業のれもねいどアクション報告、グループワーク 本人 6 名、家族 4 名、れもねいだー10 名、れもねいど加盟企業 9 名、スタッフ 5 名、オブザーバー6 名
2	12 月 16 日	宇治市役所 8 階 大会議室	れもねいど加盟企業のれもねいどアクション報告、グループワーク 本人 6 名、家族 5 名、れもねいだー13 名、れもねいど加盟企業 6 名、スタッフ 6 名、オブザーバー5 名

④ 京都文教大学グループミーティング

京都文教大学で当事者グループミーティングについては、全 6 回開催され参加した。また、11 月に開催された「ともいきフェスティバル」では全域れもんカフェを認知症当事者、家族、学生の協力を得て大学内で開催した。

回数	開催日	会場	内容
1	5 月 21 日	京都文教大学	今年度取り組みたいこと
2	6 月 18 日	京都文教大学	だれでも・どこでも
3	7 月 16 日	京都文教大学	リンクワーカー
4	10 月 15 日	京都文教大学	ともいきフェスティバルに向けて
5	11 月 19 日	京都文教大学	第三の入口問題
6	1 月 14 日	京都文教大学	今年度のれもねいど活動の評価

⑤ れもねいだー交流会及びれもねいど通信の発行

◆れもねいだー交流会

れもねいだーの交流と資質向上のため開催した。

回数	開催日	開催場所	内容	参加者数
1	7月18日	宇治市福祉サービス 公社3階会議室	①自己紹介（お名前・圏域・普段の活動等） ②れもねいだー活動の振り返り ③今年度のお話 ～チームオレンジの活動を見据えて～ ④こんなのやりたいな、れもねいだーとしての今の思い、みんなへ質問等・・・	14名
2	10月25日	なっちゃんファーム	焼き芋大会(焼き芋を食べながら交流)	14名

◆れもねいど通信

「認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業」を中心に宇治市の認知症事業について広報するため、隔月で年5回通信を発行した。通信についてはホームページやFacebook、LINEなどで発信した。

⑥ しごとれもん

認知症当事者の方の就労を目的として、れもねいど加盟登録団体とともに取り組んでいる活動。

◆茶摘み

10年目の取り組みとして実施。認知症の本人9名、家族9名、れもねいだー10名、スタッフその他58名の計86名(延べ164名)が参加した。7日間で95.97kgの摘み高であった。

◆万願寺とうがらし収穫

8年目の取り組みとして実施。認知症の本人11名、家族7名、れもねいだー11名、スタッフその他28名の計57名が参加した。105kgの万願寺とうがらしを収穫し、れもねいど加盟登録企業・団体へ販売し、その一部を参加者に賃金として支払った。

◆こかぶ収穫

7年目の取り組みとして実施。認知症の本人11名、家族6名、れもねいだー12名、スタッフその他17名の計46名(延べ70名)が参加した。2日間で計746個のこかぶを収穫し、れもねいど加盟登録企業団体へ販売し、その一部を参加した認知症当事者に賃金として支払った。

宇治市地域福祉センター指定管理事業

指定管理者として、西小倉地域福祉センター、東宇治地域福祉センター、広野地域福祉センターの施設・設備にかかる管理運営を行った。

1) デイルーム等の利用状況

◆実績

	西小倉	東宇治	広野	合計	昨年度
	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
男性	1,298 名	180 名	335 名	1,813 名	1,163 名
女性	881 名	730 名	2,293 名	3,904 名	2,970 名
計	2,179 名	910 名	2,628 名	5,717 名	4,133 名

※西小倉事業所のデイルームについては、毎週木曜日の午前中に、住民主体型通いサービスを実施中。

※入浴施設の一般開放は新型コロナウイルス感染症対策として休止した。

2) 施設の利用状況

◆実績

利用区分	西小倉		東宇治		広野	
※()は広野での呼称	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
ボランティアルーム	481 件	6,790 名				
地域交流室(会議室)	472 件	10,793 名	556 件	12,559 名	427 件	8,731 名
研修室 (介護者教育室)	472 件	10,793 名	556 件	12,559 名	426 件	8,544 名
料理教室	180 件	2,435 名	131 件	3,609 名	38 件	285 名
計	1,605 件	30,811 名	1,243 件	28,727 名	891 件	17,560 名

生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター業務)

1)宇治市全体に関わる業務(1 層)

生活支援サービス等の担い手となるボランティアの養成等に関する業務(第 1 層)

◆宇治源輝人講座の実施(宇治市健康長寿サポーター養成講座入門編)

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域住民の暮らしを支えるボランティアとしてや新たに地域での活動に参加いただく担い手を養成することを目的に講座を開催した。

また、宇治源輝人(うじげんきびと)講座受講修了後、健康長寿サポーターに登録された方を対象に、健康長寿サポーターステップアップ講座を開催した。

開催日	会場	登録者数／受講者数
6 月 3 日(月)・5 日(水)	てくのハウス MAKINO	10 名／18 名
6 月 11 日(火)・13 日(木)	紫ヶ丘集会	3 名／7 名
9 月 17 日(火)・19 日(木)	宇治市役所 8 階 大会議室	5 名／12 名
9 月 30 日(月)・10 月 4 日(金)	小倉公民館	10 名／13 名

講義「超高齢社会を元気に生きるヒント～アクティブなシニアライフを共に考えてみませんか?～」

講師: 宇治市福祉サービス公社事務局長 川北雄一郎(社会福祉士)

体験発表「わがまちの地域活動を学ぼう～わたし、こんな活動で生きがいを見つけました!」

講師:健康長寿サポーター

◆第 1 回宇治市健康長寿サポーターステップアップ講座(実践編)

宇治源輝人講座を受講し、健康長寿サポーターとして登録された方、既に健康長寿サポーターとして活動される方を対象に、住民主体型通所サービス及び生活支援サービスや各種団体活動等を立ち上げていくために必要なスキルを学ぶことを目的に開催した。

会場:宇治市役所 8 階(802)/宇治市生涯学習センター 定員 24 名

開催日	参加者数	内 容
6 月 27 日(木)	23 名	「バッククッキング 第 2 弾 ～防災時に役立つポリ袋調理～」 講師:生活支援コーディネーター 岡本千鶴
7 月 2 日(火)	29 名	「自身の活動を発表しよう」 ・南京玉すだれ ・座ってできるフラダンス・介護予防運動 ・グランドゴルフ体験 ・楽しいマジック uji ・花植え
7 月 4 日(木)	23 名	「リズムにのって体操」 講師:介護予防サポートセンター 高田治夫
7 月 12 日(金)	24 名	「認知症は誰もが自分ごと! 共に考えよう」 講師:宇治市認知症コーディネーター

◆第2回宇治市健康長寿サポーターステップアップ講座(実践編)

会場: あんしん館 他 定員 24 名

開催日	会場	参加者数	内 容
10月23日(水)	宇治市生涯学習センター	20 名	「相手の心に元気をとどける」 講師: 傾聴ボランティア「かかし」
10月24日(木)	宇治市役所 喫茶遊々	18 名	「ほっこり、ひといき。おいしい珈琲の淹れ方」 講師: 喫茶遊々スタッフ
10月29日(火)	東宇治地域福祉センター	13 名	「初めてだよ! 健康麻雀」 講師: 健康長寿サポーター
11月1日(金)	うじ安心館	12 名	「活動団体との出会いの場～マッチングサロン」 つどいのえまり(笑舞利)・通いの場陽だまり・母子草(ははこぐさ)・宇治ボランティア活動センター・槇島さろん連絡会・はにかむカフェ・宇治市シルバー人材センター・なっちゃんファーム・花おり(ちらしのみ)

◆住民主体型サポーター間の意見交流会

サポーター間の交流や情報交換を目的に通いの場・生活支援等のメンバーで運営上の課題等の情報交換や意見交換を実施した。

□通所型交流会

令和6年度 住民主体通所型サポーター交流会

●サポーター間の交流を通して情報交換を目的に、通いの場のメンバーで運営上の課題等の情報交換や意見交換を開催

・開催日時: 令和6年11月15日(金)14時～16時

・場 所: 学研ココファン JR 宇治駅前

・参加者: 13 名

・内容: 任天堂スイッチで「e スポーツを楽しもう!」情報交換・交流など

□生活支援型交流会

令和6年度「住民主体生活支援型」交流会

●サポーター間の交流を通して情報交換や仲間づくりを目的に開催

・開催日時: 令和6年12月6日(金)14:00～16:00

・場所: 宇治市役所 西館 4階(会議室)

・参加者: 7 名

・内 容: ごみ分別やリサイクルの大切さを伝える宇治市主催の出前講座

◆通いの場立ち上げ支援・運営支援

既に活動を行っている通いの場に対して、定期訪問により、運営に必要な情報提供や、体力測定の実施等を行った。

また、これから通いの場の立上げを目指す団体等に対して、地域での必要な資源の発掘・調査・地域でのお困り事などへの対応や、必要に応じて講師派遣などの調整を行った。

団体名	圏域	備考
サロン「ゑん」	南宇治圏域	
「絆の家」～憩いの場～	東宇治南圏域	
ユニライフ宇治琵琶おしゃべり会	中宇治圏域	
ほっと茶論レインボー	西宇治圏域	
はにかむカフェ	西宇治圏域	通いの場へ移行予定(R7年度)
ワイワイワイの会	西宇治圏域	今年度新規
宇治源輝広場	西宇治圏域	今年度新規
放課後等デイサービス COCORO	西宇治圏域	立上げを目指す
ウエルシア伊勢田店	西宇治圏域	立上げを目指す

◆生活支援団体運営支援

訪問生活支援「母子草(ははこぐさ)」の役員会や定例会に毎月参加し、必要な情報提供や研修会での講師調整等を行った。

◆「第9回 宇治市健康長寿フェス 2025～光輝く未来の自分へ～」の開催

開催日:令和7年2月24日(月・祝)10:00～15:00
場 所:宇治市生涯学習センター 第一ホール
参加者数:300名(スタッフ・関係団体等含む)
内 容:京都府女性の船「ステップあげぼの」よさこい踊り・輝き世代音頭 みんなで歌おう!懐かしのフォークソングライブ ビデオ上映「健康の源は気の合う仲間と愉快的交流から」 宇治民話の会による紙芝居「空に舞った花嫁衣装」 小川先生と京都医健専門学校スポーツ科による「頭と体のイキイキ体操」 宇治市民による市民劇「あした輝く!」 展示コーナー(13団体)、体験コーナー、健康長寿サポーターによるパッククッキング

2)日常生活圏域への取り組み(2 層)

◆ 宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(地域版)の業務

圏域単位の地域課題等を抽出し、整理、課題解決の取り組みとして、地域包括支援センターと連携して、地域の関係者との関係づくりを進めた。

団体名・地区	内 容
【中宇治圏域】 琵琶台まちづくり推進会議 G&B	<p>【設立】令和 3 年 9 月設立</p> <p>【構成】自治会、学区福祉委員、民生委員、社会福祉協議会、喜老会、子ども会 中宇治地域包括支援センター・長寿生きがい課</p> <p>【経緯】琵琶台地区は高齢化率 40%を超える坂道の多い団地。 中宇治圏域小地域ケア会議での話し合いをヒントに、「いつも花を絶やさない家に、花が無くなっている。」見慣れた光景の変化に気付けるのは地域ならではの取り組みだと思い、「自分たちができること」「住民の温かい知恵はきっとある」をモットーに話し合いがはじまった。</p> <p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 琵琶台地区の高齢者が安心して暮らせる地域環境づくり ② 一人暮らし高齢者や高齢世帯の日常生活の見守りや災害時の支援体制を構築 ③ 地域のネットワーク化 <p>【開催回数】 1 回</p> <p>【取り組み内容】 子ども会とのラジオ体操、防災訓練、文化祭、防災講演会</p> <p>【生活支援コーディネーターの役割】 代表と事務局と協議し、参加者への促しや課題整理、課題の明確化をする。</p>

団体名・地区	内 容
【西宇治圏域】 伊勢田ふれあいプロジェクト	<p>【構成】伊勢田小学校・伊勢田小学校 PTA 子ども会連絡協議会 防犯推進委員会 伊勢田小学校安全管理委員会 青少年健全育成協議会 伊勢田地区民生児童委員協議会伊勢田喜老会 名木喜老会 サロン絆 めくもり伊勢田・伊勢田学区福祉委員会、伊勢田少年補導 伊勢田地区体育振興会 西宇治地域包括支援センター・社会福祉協議会・長寿生きがい課</p> <p>【経緯】伊勢田学区福祉委員会研修部会から各種団体がこのコロナ禍で行事ができないことや各種団体との横のつながりがいいことから協働して取り組めることがないか提案した</p> <p>【目的】各種団体を通して子どもたちの見守りや登下校の立ち合い等高齢者の新たな役割や各種団体との協働実践し、新たな支え合いの仕組みを検討</p> <p>【取り組み内容】 学校でのふれあいラジオ体操・ 登校時見守り活動、植えるカムガーデン(予定)</p>

	<p>【生活支援コーディネーターの役割】</p> <p>プロジェクトの事務局 進行管理</p>
<p>【西宇治圏域】</p> <p>ちょっと出て いこうよ！ ふれあい プロジェクト</p>	<p>【構成】おぐらばんごはんの会(ローソン小倉堀池店オーナー)、宇治市社会福祉協議会・通いの場花おり・和みカフェ(喫茶店)、西小倉地区社会福祉協議会・西宇治地域包括支援センター・長寿生きがい課</p> <p>【経緯】ばんごはんの会の運営支援を目的としたが、それらに関わる高齢者や子どもたちのコミュニティをつくり、地域で集える場を協働でつくりだそうとする企画が話し合いの中で生まれ、その提案を西浦東町内会に持ち掛け、協議し、実践していける場を作った。</p> <p>【目的】子どもから高齢者まで集うイベントを企画し、地域福祉課題の整理</p> <p>【取り組み内容】</p> <p>毎年 3 月頃に開催する西浦東町内会「安全・安心 IN フェス」に参加。地域包括支援センター等の相談コーナーやローソンの移動販売を実施。</p> <p>【生活支援コーディネーターの役割】</p> <p>プロジェクトメンバーのとりまとめ、自治会への提案</p>
<p>【西宇治圏域】</p> <p>にしおぐら de おさんぽラリー</p>	<p>※ちょっと出て行こうよ！ふれあいプロジェクトから派生したイベント</p> <p>【構成】西小倉地区社会福祉協議会・西小倉事業所・西宇治地域包括支援センター・ 長寿生きがい課・おぐらばんごはんの会・通いの場花おり・和みカフェ・ 放課後等デイサービス COCORO</p> <p>【協賛店】どんぐり・陽だまりハウス・ハワイアンダイニング oluolu・2525・うさじ</p> <p>【趣旨】スタンプを通して地域のつながりを作っていく。地域の居場所づくりをしている各事業所の取り組みなどを知っていただく事を通して、地域のコミュニティでつながる喜びやその心の豊かさを築けるイベントを開催する。</p> <p>【開催】11 月 24 日(日)</p> <p>【参加者】約 250 名</p>
<p>【西宇治圏域】</p> <p>西浦東町内会・ 西浦東いこいの 会</p>	<p>身近な町内会の集会所で、高齢の会員同士が楽しい「安心できる生活の為・健康でいられる為」のお話を聞いたり、軽く体を動かしたりして時間を過ごして集まる場(65 歳以上対象)</p> <p>構成:西浦東町内会(実行委員)</p> <p>開催場所:西浦東集会所</p> <p>2ヶ月に1回(第4水曜日)程度の開催</p> <p>1年に1回、西浦東「安全・安心」in フェスを開催(3月)</p> <p>内容:避難訓練・福祉相談コーナー・ローソン移動販売車・北宇治中学校吹奏楽部の演奏・防災訓練(西消防署指導)・縁日・喫茶コーナー・ゲーム大会・じゃんけん大会など</p>

【西宇治圏域】 西宇治中学校	<p>【構成】のぞみ整骨院と西宇治中学校とのひまわりプロジェクトメンバー・CS コーディネーター</p> <p>【経緯】のぞみ整骨院からの紹介。学校側も地域との関わりを大事にしていることから、「福島ひまわり里親プロジェクト」の取り組みから地域の為に何かできないかとの事で始動。</p> <p>【目的】高齢者の外出するきっかけづくりをする。学生と一緒に何かをやる事で、世代間交流を図る。</p>
-------------------	--

3)会議等への出務

◆小地域包括ケア推進会(中宇治圏域)

実施日	会場
8月15日	広野地域福祉センター
12月5日	広野地域福祉センター

◆自立支援会議(中宇治・西宇治圏域)

回	開催日	会場
第1回	4月10日	市役所 302
第5回	8月14日	市役所 703
第9回	12月11日	市役所 西館 4階

◆幸齢者健康教室(旧脳活教室)

実施日		訪問先
令和6年	7月8日	広野地域福祉センター
	7月9日	西小倉地域福祉センター
	7月19日	西小倉地域福祉センター
令和7年	1月20日	広野地域福祉センター

4)「はじめよう、セカンドライフ」を実施

退職後あるいは退職を控えセカンドライフの過ごし方を考えている人や新しく生涯学習やボランティア活動を始めたいと考えている人、また 活動について悩んでいる人を対象として、培った知識や経験を活かし、これからの過ごし方についてのきっかけとなるよう、生涯学習や地域活動、ボランティア活動に関する情報や、参加者同士の交流の場を提供するため、「はじめよう！セカンドライフ」を宇治市生涯学習センター、宇治ボランティア活動センター、宇治市福祉サービス公社の三者で年2回企画・実施した。

開催日	内容	講師
6月14日(金)	「災害ボランティアとまちづくり」	志藤修史氏(大谷大学教授)

6月28日(金)	「豊かな時間の過ごし方ヒント～体験者のお話から～」	初田隆氏 (若葉台自治会会長)
11月6日(水)	「子どもを取り巻く状況と地域でできること」	村井琢哉氏 (山科醍醐こどものひろば)
7月12日(金)	「豊かな時間の過ごし方ヒント～体験者のお話から～」	竹内理氏 (宇治福祉園こども食堂担当)

乳児子育て世帯訪問支援事業

宇治市福祉こども部保健推進課の事業のうち、訪問による家事支援の事業を受託し、介護福祉士等資格を有するサポーターを派遣した。

◆実績

内訳	令和6年度	昨年度
実利用者数	35名	22名
延べ利用回数	147回	96回
延べ利用時間	251時間	165時間

子育て世帯支援事業(訪問型)

いわゆるヤングケアラーがいる世帯等に対して、介護福祉士等資格を有するサポーターを派遣し、家事支援を行った。

◆実績

内訳	令和6年度	昨年度
実利用者数	15名	4名
延べ利用回数	81回	27回
延べ利用時間	144時間25分	46時間

入門的研修事業

介護に関心を持つ市民等を対象に介護未経験の方向けの基本的な知識・スキルを身につけるための研修を開催し、公社職員が講師を務めた。

受講者:22名 修了者:18名 宇治市生活支援員研修受講者:0名
開催場所 中宇治事業所

	開催日	テーマ
1 回目	9 月 5 日(木)	①介護に関する基礎知識 ②介護の基本 ③基本的な介護の方法1
2 回目	9 月 12 日(木)	①障がいの理解 ②認知症の理解
3 回目	9 月 19 日(木)	①基本的な介護の方法2
4 回目	9 月 26 日(木)	①基本的な介護の方法3 ②介護における安全確保



【宇治輝源人講座の様子】

